

1 利用交通機関・区間

利用交通機関()	区間()
-----------	-------

2 観察支援項目の記録(確認できた項目◎、達成可能と思われる項目○、未達成項目△。保護者①は練習開始時の様子、保護者②は練習の第2段階終了後の様子を記入。)

区分	観察支援項目	確認欄		
		保護者①	保護者②	教員
道路の歩行・走行	他の歩行者や自転車に迷惑をかけずに歩行する。			
	壁の切れ目から出てくる車に注意して歩行する。			
	歩道の無い道路は、原則、道路の右端を歩行する。			
	信号の意味が分かり、周囲の状況を確認してから横断する。			
	歩行者ボタンの意味が分かり横断する。			
バスや電車の利用	利用する停留所やホームへ安全に移動する。			
	周囲に迷惑をかけずに落ち着いて待つ。			
	他の乗客に迷惑をかけず、静かに乗車している。			
	バスが停車したのを確認してから席を立ち、順番に降車する。			
	降りる駅が分かり、改札通過する。			
	いばっぴ、回数券、定期券、療育手帳を提示し運賃を正確に支払う。			
	行き先に応じて、料金表を見て料金を支払う。			
	利用するバスや電車が分かる。			
危機管理	バスや電車の時刻表がよめる。			
	時計をよめる。			
	通学路の要注意箇所を把握している。			
	子ども110番の家等、避難場所の表示や所在地が分かる。 子ども110番の家等、避難場所の利用の仕方が分かる。 緊急時の対処法が分かる。 (携帯電話をかける・公衆電話をかける・メモなどで近くの人に支援を求める・助けを呼ぶ・近くの店に逃げ込む。)			
雨の日の対応	他人に迷惑をかけずに歩行する。			
	周囲が見えるように傘をさして歩行する。			

3 観察結果報告

<保護者からの様子> 記入日: 年 月 日 ※保護者②へ記入と同時に記入する。	*乗り越し時の対応について記入する。

<教員見極め> () 見極め日: 年 月 日

<部主事所見>